



(毎週木曜日発行)
発行所 株式会社三重ふるさと新聞
津市東丸之内26-12
☎ (059) 222-3330(代)
Zフォン 050-7000-1200、1201
FAX (059) 222-3331
メール: furusato@ztv.ne.jp

創立一九六三年 岩出園学研究所

姫マツタケ
(岩出二〇一株)

(株)シエン 0120213086

とムも
さーで
るホに
ふはジ
重間一
三新べ
ご覧に
なれま
す
本紙+αの情報も!
http://furusato-shinbun.jp

昭和56年以降の住宅も

東海・南海・東南海地震の連動による大地震が将来的に発生することが
確実視されている。阪神淡路大震災では死因の80%が建物の倒壊という
データが出ているが三重県は近隣県と比べると住宅の耐震化が遅れてい
る。そんな中、耐震化推進に向けて、様々な活動に取り組んでいるNPO
法人・三重耐震マイスター倶楽部理事長の齋藤弘郎さん(齋藤建設(株)代表
取締役)に話を聞いた。(聞き手は本紙報道部長・麻生純矢)

点検や耐震化の必要性

まずは倶楽部のこと
を教えてください。
齋藤 2011年に設立
した当クラブは建築関連企
業の正会員11社、賛助会員
8社が参加しており、いず
れもNPO法人・すまいの
構造改革推進協会の会員。
皆が一住まいは家族との生
活と命を守るものでなければ
ならない」という当倶楽
部の信念に共感し、既存住
宅の耐震化を行うための耐
震診断や耐震補強技術の向
上、一般への耐震に関する
情報提供などを実施。三重
県の防災対策本部や三重大
学の自然災害対策室との連
携をめざしながら、啓蒙活
動に取り組んでいる。
——県内の各自治体でも
住宅の無料耐震診断や耐震
化の補助事業を行っています
が、違いはありますか。
齋藤 自治体の実施する
住宅の耐震関係の事業は、
建築基準法が改正された昭
和56年5月末以前に建て
られたものが対象。私たち
は主に、それ以降から更に
厳しい基準が設けられた00
年の間に建てられた建物を
メインターゲットとしてい
る。阪神大震災や東日本大
震災でも昭和56年以前の建
物の危険性は指摘されてい
るが、ちょうど狭間に当た
るこの期間に建てられた建
物、シロアリの被害、水回
りの柱の腐朽、経年劣化な
どで耐震性が下がっている
可能性がある。こういった
住宅は自治体の無料診断や
補助の対象外だが、耐震診
断を受け、然るべき処置を
受けるのが望ましい。
——なるほど。ただ、自
治体の無料診断を受けた後
に、補助を受けられても高
額の工事費の見積もりを見

三重耐震マイスター倶楽部の齋藤理事長に
住宅の耐震化について聞く



三重耐震マイスター倶楽部の齋藤理事長

み、シロアリの被害、水回
りの柱の腐朽、経年劣化な
どで耐震性が下がっている
可能性がある。こういった
住宅は自治体の無料診断や
補助の対象外だが、耐震診
断を受け、然るべき処置を
受けるのが望ましい。
——なるほど。ただ、自
治体の無料診断を受けた後
に、補助を受けられても高
額の工事費の見積もりを見

おためし
1回無料体験 実施中
津アガヒスイミングスクール ☎059-224-1505
アガヒスポーツクラブ千里 ☎059-245-1133
アガヒスポーツクラブくじら ☎059-234-1666
7月・8月 公共プール監視員大募集 (☎059-245-5999)

物古いものだと築30年以
上になる。間取りによる強
度の不足や、耐震金具の緩
い。例えば、震度6弱で倒
壊する危険性がある評点
0.4の住宅ならば、相当
なダメージは受けるが辛う
じて倒壊せずに済む評点
0.7まで引き上げるだけ
で命を救うという意味では
非常に有効。工事費も抑え
られる。施主の要望に合わ
せた柔軟な対応も大切な。
——耐震化にも様々な方
法があるというのは自から
うろこでした。そちらに耐
震化をお願いする場合の流
れを教えてください。
齋藤 まずは、当倶楽部
の耐震診断(費用2万円)

で、住宅のあるエリアを
担当する会員企業の者が入
念にチェックをする。その
時に集めたデータを、耐震
診断ソフトに入力すること
で、揺れに対して弱い方向
や、どのような耐震補強を
施せば良いのかが分かるデ
ータをお見せする。その後、
予算や要望に合わせて様々
な提案をさせて頂く。リフ
ォームと同時に耐震補強を
考えるのも合理的だ。
——東日本大震災より4
年が経過し、耐震化への関
心が少し下がったように思
えますが近い将来に東海・
南海・東南海の連動大地震
がほぼ確実に発生すると言
われています。そんな中で
先日の小笠原諸島沖の地震
でもう一度気を引き締めた
人も多いと思います。
齋藤 私も長年建築業界
に係った者の恩返しとい
う気持ちで、一人でも多く
の命を救うために活動して
いる。住宅の耐震性に少し
でも不安のある方は気軽に
相談してほしい。
——ありがとうございます
お問い合わせ ☎0120・
1521・5020。